

単元1 災害といのちを 守るための行動



■ 目標

- 私たちを取り巻くさまざまな自然災害から命を守るための行動について理解する

■ 内容

1. 私たちを取り巻くさまざまな自然災害リスク
2. 自然災害から命を守るための行動

01

私たちを取り巻く
さまざまな自然災害リスク

毎年のように起きているさまざまな自然災害

平成23年	3月11日	東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)【震度7、大津波】
平成25年	4月13日	淡路島付近の地震(淡路島地震)【震度6弱】
平成26年	8月	平成26年8月豪雨(土砂災害)
	9月27日	御嶽山噴火
	11月22日	長野県神城断層地震(長野県北部地震)【震度6弱】
平成27年	9月	平成27年9月関東・東北豪雨
平成28年	4月16日	平成28年熊本地震【震度7】
平成29年	7月5～6日	平成29年7月九州北部豪雨
平成30年	6月18日	大阪府北部を震源とする地震(大阪大阪北部地震)【震度6弱】
	6月28日～	平成30年7月豪雨
	9月6日	北海道胆振東部地震【震度7】
令和元年	9月	令和元年房総半島台風(台風15号)
	10月	令和元年東日本台風(台風19号)
令和2年	7月	令和2年7月豪雨
令和3年	2月13日	福島県沖地震【震度6強】
	7月13日	7月1日から3日の東海地方・関東地方南部を中心とした大雨(熱海伊豆山土石流災害)



赤字=地震(カッコ内は最大震度)、青字=大雨や台風による災害

出典: (左上、右上)株式会社サイエンスクラフト(左下)総務省消防庁「東日本大震災関連情報 写真集」(右下)愛知県ホームページ

Copyright © Hiroshima Prefecture. All rights reserved.

自然災害とは

◆災害

暴風、竜巻、豪雨、豪雪、洪水、崖崩れ、土石流、高潮、地震、津波、噴火、地滑りその他の異常な自然現象又は大規模な火事若しくは爆発その他その及ぼす被害の程度においてこれらに類する政令で定める原因により生ずる被害

(災害対策基本法第二条)

土砂災害



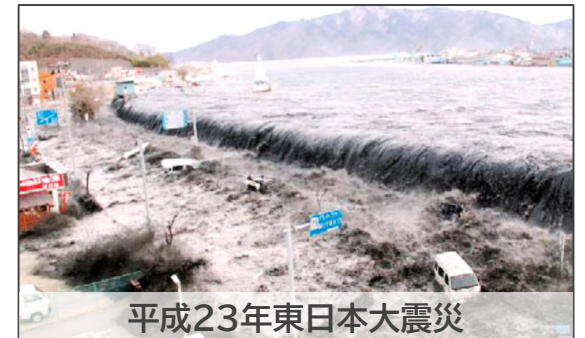
洪水災害・浸水害



地震



津波



本研修では、これらの自然災害について考えます！

私たちの地域(広島県)では、どのような自然災害の発生が懸念されているのでしょうか？

土砂災害の発生



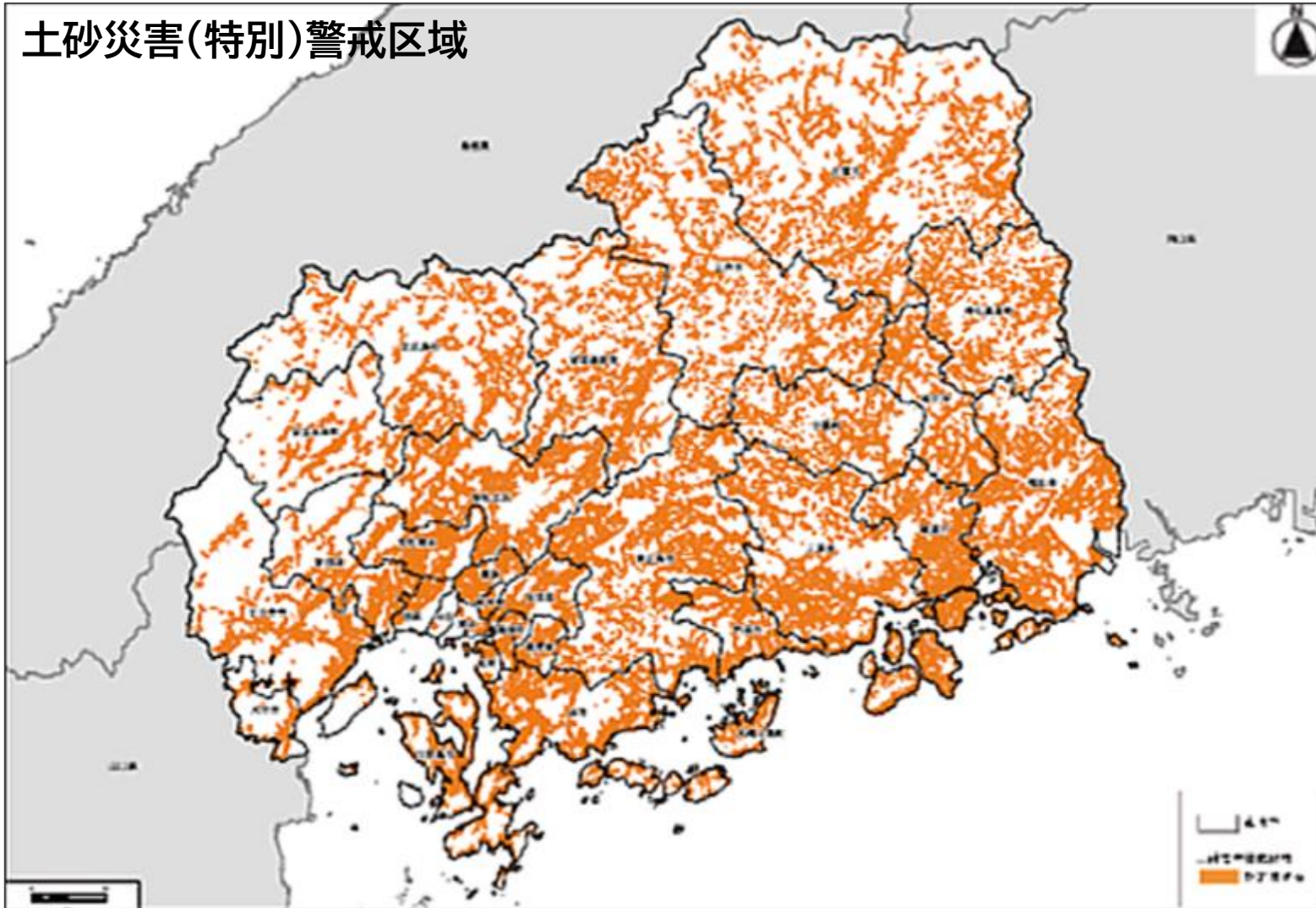
海田町畝地区



熊野町川角地区

平成30年7月豪雨時、広島県内の多くの場所で土砂災害が発生！

広島県の土砂災害(特別)警戒区域



広島県の土砂災害のおそれがある箇所は、約48,000箇所(全国最多)



土砂災害の危険区域内に多くの人が居住

洪水災害・浸水害の発生



広島市安芸区瀬野 瀬野駅付近



広島市安芸区瀬野 瀬野駅付近

平成30年7月豪雨時、広島県内の多くの場所で浸水害が発生！

広島県内を流れる代表的な河川とその流域



大雨時には河川が
氾濫し、洪水・浸水害
が発生する可能性が
ある

地震災害の発生

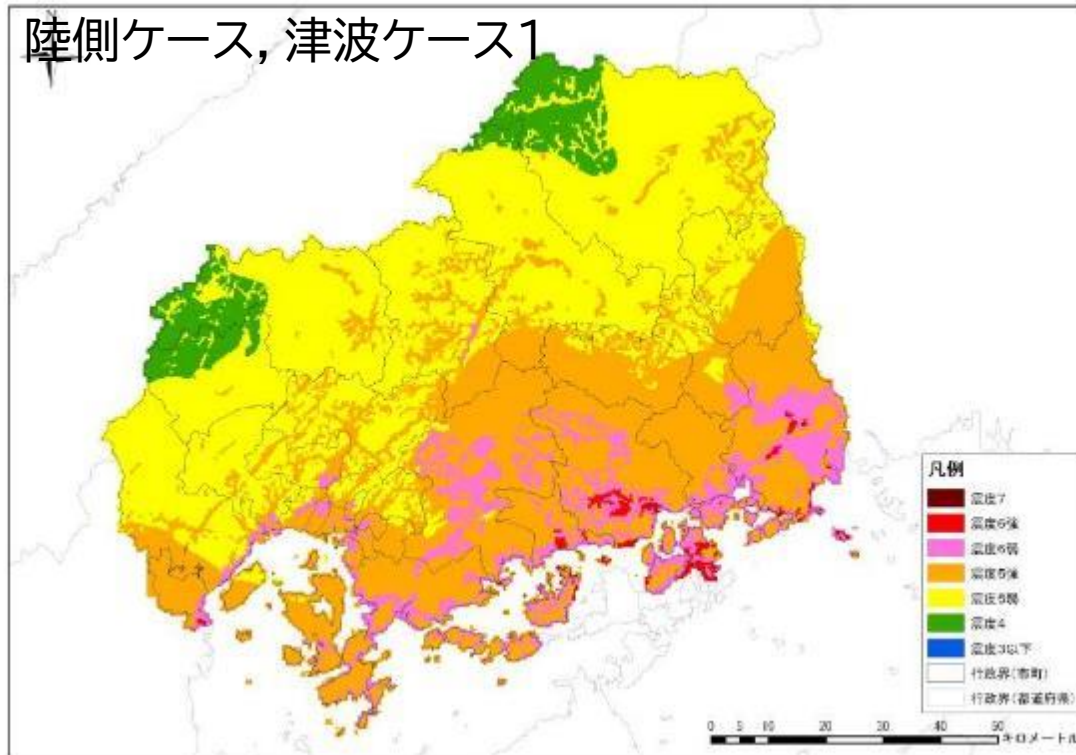


平成28年熊本地震時（益城町内）

毎年のように、全国各地で地震による被害・影響が発生！

広島県に被害をもたらす可能性のある地震災害

南海トラフ巨大地震の震度分布



※ 250m×250mメッシュの単位で想定した震度分布

想定される最大震度は **6強**

南海トラフ巨大地震の被害想定

建物被害

全壊棟数 69,561棟

人的被害

死者数 14,759人
負傷者数 22,220人

避難者

全避難者数 59万人

ライフライン被害

上水道被害 (断水人口) 107万人

下水道被害 (支障人口) 78万人

電力被害 (停電軒数) 12万軒

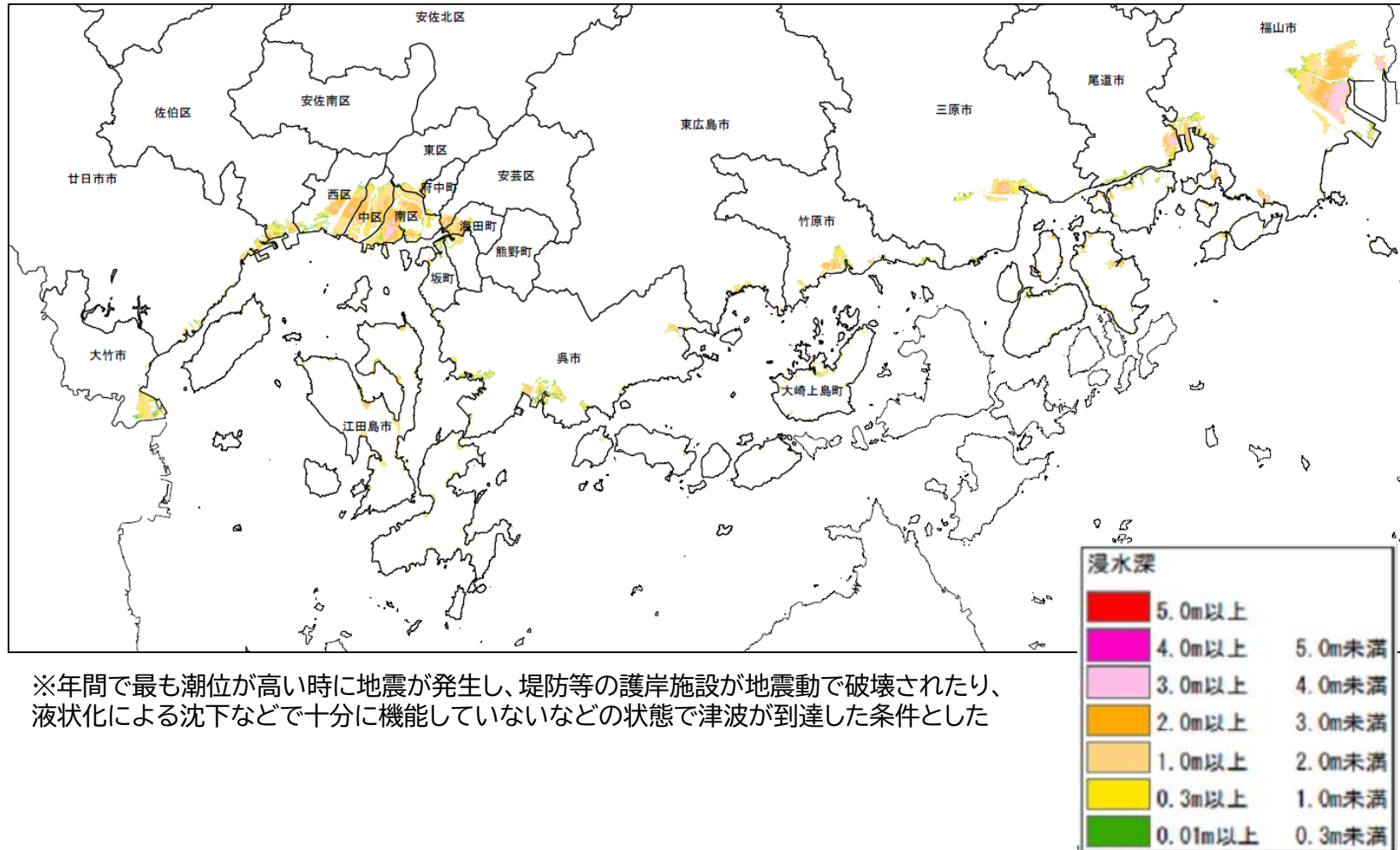
通信被害 (固定電話不通回線数) 8万回線

災害廃棄物等

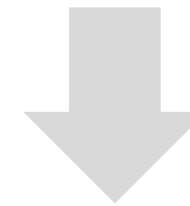
災害廃棄物 497万トン
津波堆積物 339~720万トン
(破堤に伴う浸水被害も含む)

多くの県民が強い揺れの地震に見舞われ、甚大な被害が生じる

広島県の沿岸部で懸念される津波災害



広島県は南海トラフ巨大地震等に伴う津波の懸念がある



津波による
浸水想定区域内に
多くの人々が居住

津波災害の発生



岩手県 宮古市(東日本大震災)

平成22年チリ中部沿岸の地震により、
広島県内で観測史上初めて津波を観測

観測地点	最大波
広島市	微弱
呉市	0.2 m

広島県でも津波の被害が想定されている！

あなた自身が住んでいる場所の
自然災害によるリスクについて
確認していきましょう

「ハザードマップ」で確認！

地域の自然災害リスクは、「ハザードマップ」で確認できる！

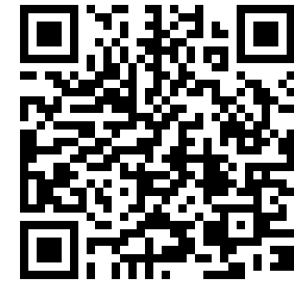
ハザードマップとは、津波や地震、土砂災害などで「今後起こりうるかも知れない被害」の予測や避難場所等を、地図上で見えるようにしたもの

ハザードマップのイメージ



【広島県のハザードマップ公表状況】

<http://www.bousai.pref.hiroshima.jp/out/public/hazardmap/>



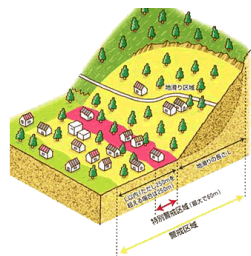
最新のハザードマップについては、各市町のホームページ等で確認！

！ 地図上の被害が予測されていない場所でも災害が生じることがある。必ずしも安全ではないことに注意！

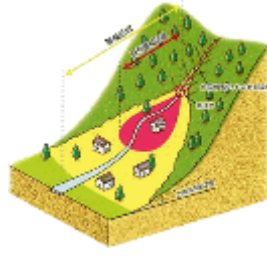
地域・居住場所における土砂災害の恐れのある区域を知る



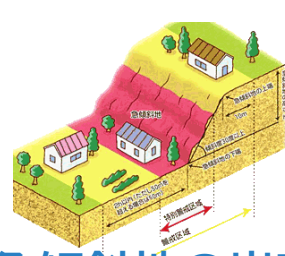
土砂災害のリスクがあるエリア



地すべり



土石流



急傾斜地の崩落
(がけ)

リスクの度合い(色別)

土砂災害警戒区域
(イエローゾーン)

- 災害災害のおそれがある区域

土砂災害
特別警戒区域
(レッドゾーン)

- 建物が破壊され、人命に大きな被害が生ずるおそれがある区域



土砂災害ポータルサイトひろしま

地域の「どこで」×「どのくらいの規模」の
土砂災害の発生リスクがあるかわかる

自分が住んでいる地域の土砂災害のリスクを確認しましょう

用意するもの

- 災害のリスク確認ワークシート
- 広島県防災Web
- ペン

災害のリスク確認ワークシート

■居住地域の災害リスク

自宅の状況	<input type="checkbox"/> 一戸建て (<input type="checkbox"/> 平屋 <input type="checkbox"/> 2階建以上)	<input type="checkbox"/> 木造 <input type="checkbox"/> 鉄筋 <input type="checkbox"/> 鉄骨			
	<input type="checkbox"/> アパート・マンション (居住階 階)	<input type="checkbox"/> エレベータ <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし			
	建築時期 <input type="checkbox"/> 昭和56年(1981年)6月以前 <input type="checkbox"/> 昭和56年(1981年)6月以降				
	いつも居る場所 (階)	寝る場所 (階)			
土砂災害	<input type="checkbox"/> 赤 <input type="checkbox"/> 黄 <input type="checkbox"/> なし				
洪水	<input type="checkbox"/> 浸水なし <input type="checkbox"/> 浸水あり (<input type="checkbox"/> 0~0.5m <input type="checkbox"/> 0.5m~3m <input type="checkbox"/> 3m~5m <input type="checkbox"/> 5m以上)				
高潮	<input type="checkbox"/> 浸水なし <input type="checkbox"/> 浸水あり (<input type="checkbox"/> 0~0.5m <input type="checkbox"/> 0.5m~3m <input type="checkbox"/> 3m~5m <input type="checkbox"/> 5m以上)				
津波	<input type="checkbox"/> 浸水なし <input type="checkbox"/> 浸水あり (<input type="checkbox"/> 0~0.5m <input type="checkbox"/> 0.5m~3m <input type="checkbox"/> 3m~5m <input type="checkbox"/> 5m以上)				
地震	想定最大震度 <input type="checkbox"/> 震度7 <input type="checkbox"/> 震度6強 <input type="checkbox"/> 震度6弱 <input type="checkbox"/> 震度5強以下				
避難の必要性	大雨時・台風時	地震・津波時			
	土砂災害 あり・なし	洪水 あり・なし	高潮 あり・なし	津波 あり・なし	建物倒壊・火災 あり・なし
避難先					



広島県防災Web



<http://www.bousai.pref.hiroshima.jp/?l=25-0&ll=34.58347505599177%2C132.91397094726562&z=9&municipalityCd=340006>

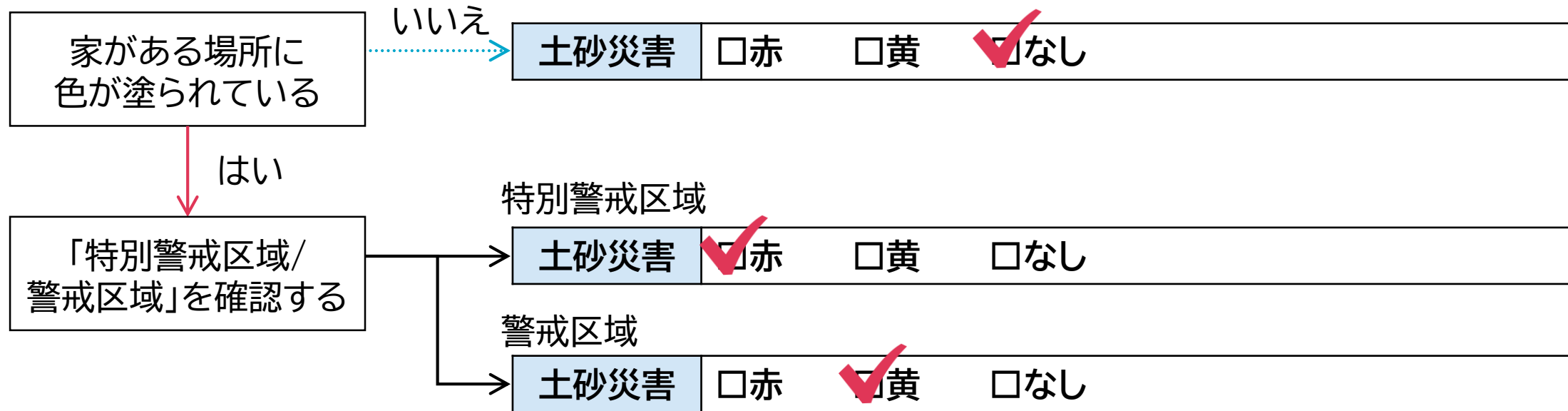
ワーク 自宅の土砂災害のリスクを確認する

災害のリスク確認ワークシート

■居住地域の災害リスク

自宅の状況	<input type="checkbox"/> 一戸建て (<input type="checkbox"/> 平屋 <input type="checkbox"/> 2階建以上)	<input type="checkbox"/> 木造 <input type="checkbox"/> 鉄筋 <input type="checkbox"/> 鉄骨		
	<input type="checkbox"/> アパート・マンション (居住階 階)	<input type="checkbox"/> エレベータ <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし		
	建築時期 <input type="checkbox"/> 昭和56年(1981年)6月以前 <input type="checkbox"/> 昭和56年(1981年)6月以降			
	いつも居る場所 (階)	寝る場所 (階)		
土砂災害	<input type="checkbox"/> 赤 <input type="checkbox"/> 黄 <input checked="" type="checkbox"/> なし			
洪水	<input type="checkbox"/> 浸水なし <input type="checkbox"/> 浸水あり (<input type="checkbox"/> 0~0.5m <input type="checkbox"/> 0.5m~3m <input type="checkbox"/> 3m~5m <input type="checkbox"/> 5m以上)			
高潮	<input type="checkbox"/> 浸水なし <input type="checkbox"/> 浸水あり (<input type="checkbox"/> 0~0.5m <input type="checkbox"/> 0.5m~3m <input type="checkbox"/> 3m~5m <input type="checkbox"/> 5m以上)			
津波	<input type="checkbox"/> 浸水なし <input type="checkbox"/> 浸水あり (<input type="checkbox"/> 0~0.5m <input type="checkbox"/> 0.5m~3m <input type="checkbox"/> 3m~5m <input type="checkbox"/> 5m以上)			
地震	想定最大震度 <input type="checkbox"/> 震度7 <input type="checkbox"/> 震度6強 <input type="checkbox"/> 震度6弱 <input type="checkbox"/> 震度5強以下			
避難の必要性	大雨時・台風時	地震・津波時		
	土砂災害 あり・なし	洪水 あり・なし	高潮 あり・なし	津波 あり・なし
避難先				

地図の中から自宅がある地点を確認し、「土砂災害のリスク」をワークシートに記入します。



居住場所が特別警戒区域、警戒区域内にあるかどうか確認する

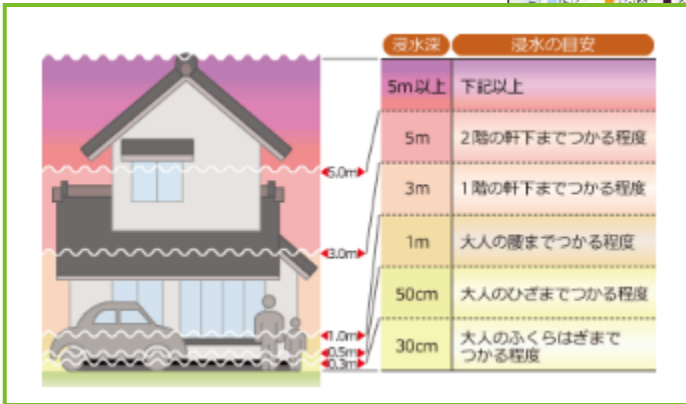
地域・居住場所における洪水・浸水害の恐れのある区域を知る



浸水想定区域×浸水の深さ

浸水想定区域×浸水継続時間

◆ 浸水の深さ
浸水が想定される
「区域」×「深さ」



◆ 浸水継続時間
浸水の継続が
想定される
「区域」×「時間」



地域の「どこで」×「どのくらいの深さで」×「どれくらいの継続時間で」
発生する可能性があるかわかる

ワーク 自宅の洪水・浸水害のリスクを確認する

地図の中から自宅がある地点を確認し、「浸水のリスク」、「浸水深」をワークシートに記入します。

災害のリスク確認ワークシート

■居住地域の災害リスク

自宅の状況	<input type="checkbox"/> 一戸建て (<input type="checkbox"/> 平屋 <input type="checkbox"/> 2階建以上)	<input type="checkbox"/> 木造 <input type="checkbox"/> 鉄筋 <input type="checkbox"/> 鉄骨			
	<input type="checkbox"/> アパート・マンション (原住階 階)	<input type="checkbox"/> エレベータ <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし			
建築時期	<input type="checkbox"/> 昭和56年(1981年)6月以前	<input type="checkbox"/> 昭和56年(1981年)6月以降			
いつも居る場所 (階)	寝る場所 (階)				
土砂災害	<input type="checkbox"/> 赤 <input type="checkbox"/> 黄 <input type="checkbox"/> なし				
洪水	<input type="checkbox"/> 浸水なし <input type="checkbox"/> 浸水あり (<input type="checkbox"/> 0~0.5m <input checked="" type="checkbox"/> 0.5m~3m <input type="checkbox"/> 3m~5m <input type="checkbox"/> 5m以上)				
高潮	<input type="checkbox"/> 浸水なし <input type="checkbox"/> 浸水あり (<input type="checkbox"/> 0~0.5m <input type="checkbox"/> 0.5m~3m <input type="checkbox"/> 3m~5m <input type="checkbox"/> 5m以上)				
津波	<input type="checkbox"/> 浸水なし <input type="checkbox"/> 浸水あり (<input type="checkbox"/> 0~0.5m <input type="checkbox"/> 0.5m~3m <input type="checkbox"/> 3m~5m <input type="checkbox"/> 5m以上)				
地震	想定最大震度	<input type="checkbox"/> 震度7 <input type="checkbox"/> 震度6強 <input type="checkbox"/> 震度6弱 <input type="checkbox"/> 震度5強以下			
	大雨時・台風時	地震・津波時			
避難の必要性	土砂災害	洪水	高潮	津波	建物倒壊・火災
避難先	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし

▶ 凡例

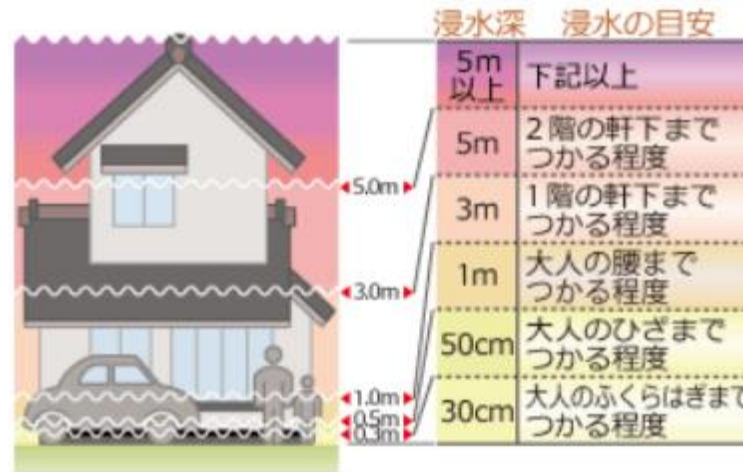
選択地点を表示

検索結果一覧

区分	名称	浸水深(m)
浸水想定 (想定最大)	太田川	0.5-3.0
浸水想定 (想定最大)	元安川	0.5-3.0
浸水想定 (想定最大)	旧太田川	0.5-3.0

▶ 位置図

▶ 住所・避難



浸水想定や浸水継続時間には、「想定最大規模」と「計画規模」があります。今回のワークでは、「想定最大規模」を確認してください

→ **洪水** 浸水なし 浸水あり (0~0.5m 0.5~3m 3~5m 5m以上)

居住場所が浸水想定区域内にあるかどうか、浸水深の程度と併せて確認する

地域・居住場所における津波や高潮の恐れのある区域を知る



浸水のリスクがあるエリア

浸水の深さの想定



高潮・津波災害ポータルひろしま

【津波】

海底で発生する地震に伴う海底地盤の隆起・沈降や海底における地滑りなどにより、その周辺の海水が上下に変動することによって引き起こされる波



高潮・津波災害ポータルひろしま

【高潮】

台風に伴う風が原因で起こる「吹き寄せ効果」と、台風が接近して気圧が低くなって起こる「吸い上げ効果」などで、海面が上昇する現象

地域の「どこで」×「どのくらいの深さで」
発生する可能性があるかわかる

ワーク 自宅の津波や高潮のリスクを確認する

災害のリスク確認ワークシート

■居住地域の災害リスク

自宅の状況	<input type="checkbox"/> 一戸建て (<input type="checkbox"/> 平屋 <input type="checkbox"/> 2階建以上)	<input type="checkbox"/> 木造 <input type="checkbox"/> 鉄筋 <input type="checkbox"/> 鉄骨			
	<input type="checkbox"/> アパート・マンション (居住階 階)	<input type="checkbox"/> エレベータ <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし			
	建築時期 <input type="checkbox"/> 昭和56年(1981年)6月以前 <input type="checkbox"/> 昭和56年(1981年)6月以降				
	いつも居る場所 (階)	寝る場所 (階)			
土砂災害	<input type="checkbox"/> 赤 <input type="checkbox"/> 黄 <input type="checkbox"/> なし				
洪水	<input type="checkbox"/> 浸水なし <input type="checkbox"/> 浸水あり (<input type="checkbox"/> 0~0.5m <input type="checkbox"/> 0.5m~3m <input type="checkbox"/> 3m~5m <input type="checkbox"/> 5m以上)				
高潮	<input type="checkbox"/> 浸水なし <input type="checkbox"/> 浸水あり (<input type="checkbox"/> 0~0.5m <input type="checkbox"/> 0.5m~3m <input type="checkbox"/> 3m~5m <input type="checkbox"/> 5m以上)				
津波	<input type="checkbox"/> 浸水なし <input type="checkbox"/> 浸水あり (<input type="checkbox"/> 0~0.5m <input type="checkbox"/> 0.5m~3m <input type="checkbox"/> 3m~5m <input type="checkbox"/> 5m以上)				
地震	想定最大震度 <input type="checkbox"/> 震度7 <input type="checkbox"/> 震度6強 <input type="checkbox"/> 震度6弱 <input type="checkbox"/> 震度5強以下				
避難の必要性	大雨時・台風時	地震・津波時			
	土砂災害 あり・なし	洪水 あり・なし	高潮 あり・なし	津波 あり・なし	建物倒壊・火災 あり・なし
避難先					

地図の中から自宅がある地点を確認し、「浸水のリスク」、「浸水深」をワークシートに記入します。

凡例

選択地点を表示

検索結果一覧

区分	浸水深ほか
高潮浸水想定 (想定最大)	5m以上10m未満

情報表



浸水深	浸水の目安
5m以上	下記以上
5m	2階までつかる程度
2m	1階の軒下までつかる程度
1m	大人の腰までつかる程度
50cm	大人のひざまでつかる程度

高潮	<input type="checkbox"/> 浸水なし	<input checked="" type="checkbox"/> 浸水あり	<input type="checkbox"/> 0~0.5m	<input type="checkbox"/> 0.5~3m	<input type="checkbox"/> 3~5m	<input checked="" type="checkbox"/> 5m以上
津波	<input type="checkbox"/> 浸水なし	<input type="checkbox"/> 浸水あり	<input type="checkbox"/> 0~0.5m	<input type="checkbox"/> 0.5~3m	<input type="checkbox"/> 3~5m	<input type="checkbox"/> 5m以上

居住階が浸水する可能性があるかどうか確認する

まとめ

- 広島県は、これまで土砂災害や浸水害などをはじめ、さまざまな自然災害に見舞われ、そのたびに大きな被害を受けてきた
- 県内には、自然災害リスクのある場所や区域が比較的多いため、今後も、自然災害に見舞われるおそれがある
- 私たちの地域の自然災害リスクは、**ハザードマップ**を通じて知ることが出来る。そして、自然災害リスクは、**地域により異なる**
- **住んでいる地域の自然災害リスクを確認することが、命を守る
第一歩**



02

自然災害から 命を守るための行動

災害への対応(防災・減災とは)

◆防災とは

災害を未然に防止し、災害が発生した場合における被害の拡大を防ぎ、及び災害の復旧を図ること

(災害対策基本法第二条)

◆減災とは

災害後の対応よりも事前の対応を重視し、できることから計画的に取り組んで、少しでも被害の軽減をはかるようにすること

(内閣府(防災担当)「減災のてびき」)

起きる可能性のある「自然災害」を想定し、
「防災・減災」の対策に取り組むことが重要！

**大雨時・・・身近に危険が迫る中、
どんな対応を取るべきですか？
また、それはいつですか？**

平成30年広島豪雨時の実態と教訓

平成30年6月28日以降の台風第7号や梅雨前線の影響によって、西日本を中心に全国的に広い範囲で記録的な大雨となり、全国各地で甚大な被害が発生した。広島県では、死者108人に及ぶ被害が発生



土砂災害被災状況(熊野町)

実態

- 集中豪雨の時間帯が深夜だった
- 防災を促す気象情報、避難情報が発令されていたが、適切な避難行動に結びつかなかった
- 結果、甚大な被害が生じた

- 自分が住む場所に起こり得る災害のリスクと避難の必要性を知る
- 身の安全を確保するための避難行動、避難先を知る
- 避難のタイミングとその手掛かりとなる情報を理解する
- 「自分の身は自分で守る」、「率先して避難しよう」という意識を持つ

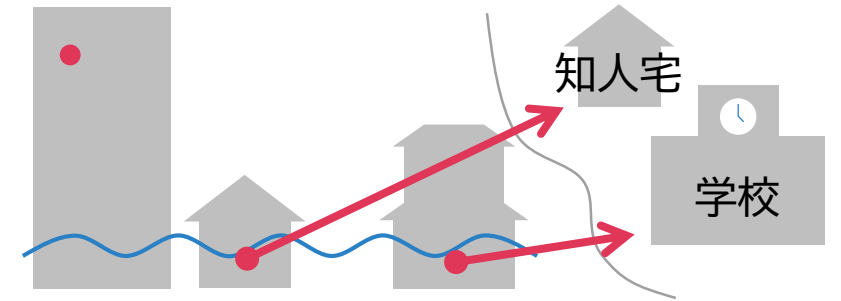
状況に応じた避難行動

警戒レベル3・4

立退き 避難

安全な場所

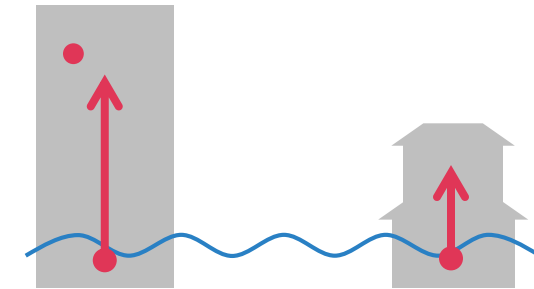
- 指定緊急避難場所へ移動(小中学校、公民館など)
- 安全な自主避難先(親戚、知人宅など)



屋内安全 確保

安全な自宅・施設等

- 安全な上階へ移動
- 安全な上層階に留まる

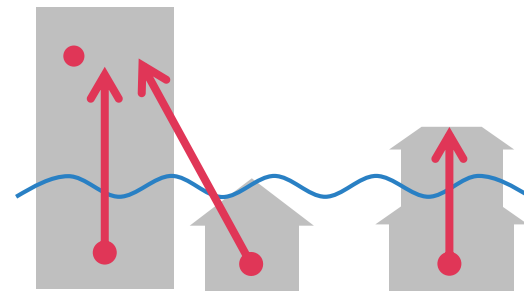


警戒レベル5

緊急安全 確保

安全とは限らない 自宅・施設等近隣の建物 (適切な建物が近隣にあるとは限らない)

- 上階へ移動
- 崖から離れた部屋に移動
- 上層階に留まる
- 近隣の高く堅牢な建物に移動



自宅や自身の状況をふまえて、どのような避難行動をとるか決めておく

自然災害の種別に応じた避難行動とその特徴

洪水・浸水害

基本 立退き避難

- 浸水想定区域図を確認して、安全が確保できる場合は屋内安全確保も可能
- 上流の雨の状況にも注意する
- 中小河川の場合、避難情報が間に合わないこともある
- 避難時はマンホールや側溝、アンダーパス等にも注意する

想定される浸水位等によって、屋内安全確保（垂直避難）も可能

土砂災害

基本 立退き避難

- 避難が間に合わない状況になった場合は、堅牢な建物の上層階に避難する
- 小規模ながけ崩れのリスクがある場合は2階の斜面から離れた部屋に移動する
- 土砂災害は雨が止んだ後に発生することもあるので、避難情報が解除になるまで戻らない

早めの「立退き避難」が不可欠

津波災害

基本 立退き避難

- 屋内安全確保では命は守れない
- 津波のリスクがある場合は、避難情報を待たずに、可能な限り高く安全な場所に避難する
- 津波の場合、基本的に避難指示のみが発令される

自治体の避難情報を待たずにすぐに避難

安全確保のための「避難先」とその特徴について

◆ 指定緊急避難場所

- 生命の安全の確保を目的として住民等が緊急に避難する施設又は場所
- 災害のリスクが低い小中学校や公民館等が指定されている
- たくさんの人が避難してくるため、個別の支援は受けにくい

◆ 福祉避難所

- 福祉事業所等で要配慮者の受入可能な施設が対象
- 専門的な支援が受けられるが、それぞれの事業所との調整が必要

◆ 親戚や知り合いの家、ホテル等

- 災害リスクのない安全な場所の親戚や知人等の家
- 個別の状態に応じた、柔軟な配慮がしやすい
- 滞在が長期になる場合は負担をかけてしまう（ホテルの場合は経済的負担がかかる）

◆ (安全な場合)自宅の上階

- 災害リスクがなく、安全が確保できる場合に限り避難先となる
- 上階で安全が確保できても、1階部分が浸水するなど孤立する可能性もあるため、食料、水、トイレ等の備えが必要

それぞれの特徴を理解の上、より安全な避難先を選択する

避難行動開始の参考となる情報(避難のタイミング)



警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	市町が発令する避難情報	市町が参考とする防災気象情報
5	災害発生 または切迫	命の危険 直ちに安全確保！	緊急安全確保	大雨特別警報 等
<警戒レベル4までに必ず避難！>				
4	災害の おそれ高い	危険な場所から全員避難	避難指示	氾濫危険情報 土砂災害警戒情報 等
3	災害の おそれあり	危険な場所から高齢者等は避難	高齢者等避難	大雨警報 洪水警報 等
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	—	大雨注意報 洪水注意報 等
1	今後気象状況 悪化のおそれ	災害への心構えを高める	—	早期注意情報

情報収集の方法

県や市町の防災情報メール

登録した方へ、気象情報や避難指示等の情報をメールで通知



広島県土砂災害危険度情報

大雨等で土壌が崩れやすくなっている場所を色別で表示



広島県防災web

県内の雨の量や河川の水位などを、リアルタイムで見ることができる



緊急地震速報

地震の発生直後に、各地での強い揺れの到達時刻や震度を予想し、TVやラジオ等でお知らせ



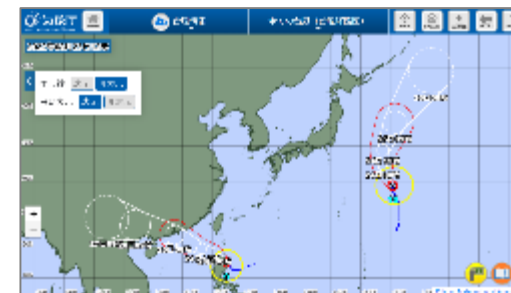
(気象庁HP)高解像度降水ナウキャスト

国や地方自治体が保有する全国の雨量計のデータ等を活用し、250m解像度の降水分布を30分先まで予測



(気象庁HP)台風情報

3時間毎に台風の実況と予報を、各時刻の正時約50分後に発表



「自らの命は、自らが守る」意識と行動の必要

自らの命を守るためには・・・

居住する地域の
災害リスクを
把握する

=自然災害リスクに応じた、
避難行動、避難先を知る

×

行政から出され
る避難情報等の
意味を理解する

=避難のタイミングとその
きっかけとなる情報を知る

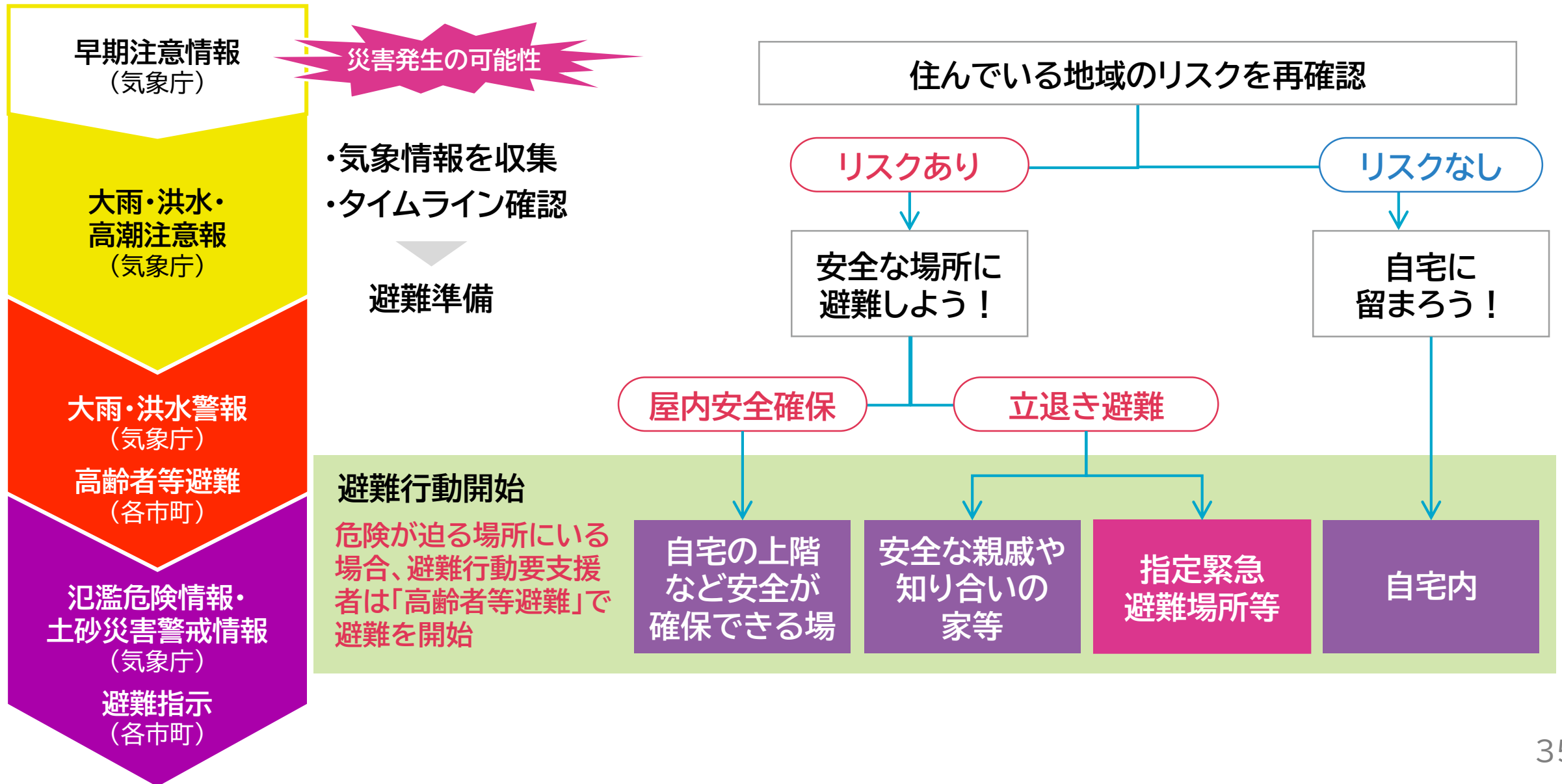
×

自らの判断で
避難できる
ようにする

=避難しよう意識する、
主体的に行動できる

「自らの命は自らが守る」という意識を持ち、
自らの判断で主体的な避難行動をとることが必要

大雨時の対応の流れ



**あなた自身が住んでいる場所での
避難について考えてみましょう！**

あなたが自宅にいる中で、「自然災害が発生する可能性がある」
場合の避難について、考えてみましょう。

用意するもの

- 災害のリスク確認
ワークシート
- 広島県防災Web
- ペン

災害の危険確認ワークシート

■居住地域の災害リスク

自宅の 状況	<input type="checkbox"/> 一戸建て (<input type="checkbox"/> 平屋 <input type="checkbox"/> 2階建以上)	<input type="checkbox"/> 木造 <input type="checkbox"/> 鉄筋 <input type="checkbox"/> 鉄骨			
	<input type="checkbox"/> アパート・マンション (居住階 階)	<input type="checkbox"/> エレベータ <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし			
	建築時期 <input type="checkbox"/> 昭和56年(1981年)6月以前 <input type="checkbox"/> 昭和56年(1981年)6月以降	寝る場所 (階)			
土砂災害	<input type="checkbox"/> 赤 <input type="checkbox"/> 黄 <input type="checkbox"/> なし				
洪水	<input type="checkbox"/> 浸水なし <input type="checkbox"/> 浸水あり (<input type="checkbox"/> 0~0.5m <input type="checkbox"/> 0.5m~3m <input type="checkbox"/> 3m~5m <input type="checkbox"/> 5m以上)				
高潮	<input type="checkbox"/> 浸水なし <input type="checkbox"/> 浸水あり (<input type="checkbox"/> 0~0.5m <input type="checkbox"/> 0.5m~3m <input type="checkbox"/> 3m~5m <input type="checkbox"/> 5m以上)				
津波	<input type="checkbox"/> 浸水なし <input type="checkbox"/> 浸水あり (<input type="checkbox"/> 0~0.5m <input type="checkbox"/> 0.5m~3m <input type="checkbox"/> 3m~5m <input type="checkbox"/> 5m以上)				
地震	想定最大震度 <input type="checkbox"/> 震度7 <input type="checkbox"/> 震度6強 <input type="checkbox"/> 震度6弱 <input type="checkbox"/> 震度5強以下				
避難の 必要性	大雨時・台風時	地震・津波時			
	土砂災害 あり・なし	洪水 あり・なし	高潮 あり・なし	津波 あり・なし	建物倒壊・火災 あり・なし
避難先					



広島県防災Web



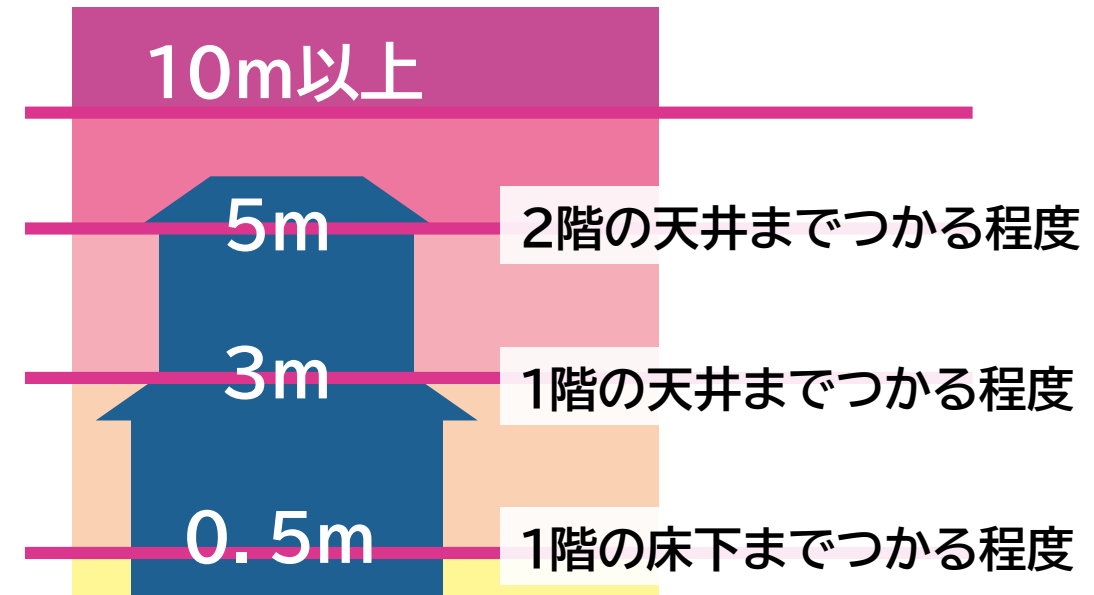
<http://www.bousai.pref.hiroshima.jp/?l=25-0&ll=34.58347505599177%2C132.91397094726562&z=9&municipalityCd=340006>

ワーク 避難の必要性を確認する

「自宅の状況」を含め、災害リスクの確認の結果をみて、「土砂災害」、「洪水」、「高潮」、「津波」の際の避難の必要を判断します。

■居住地域の災害リスク	
自宅の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 一戸建て (<input type="checkbox"/> 平屋 <input checked="" type="checkbox"/> 2階建以上) <input type="checkbox"/> アパート・マンション (居住階 階)
	<input checked="" type="checkbox"/> 木造 <input type="checkbox"/> 鉄筋 <input type="checkbox"/> 鉄骨 <input type="checkbox"/> エレベータ <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
	建築時期 <input checked="" type="checkbox"/> 昭和 56 年 (1981 年) 6 月以前 <input type="checkbox"/> 昭和 56 年 (1981 年) 6 月以降
	いつも居る場所 (1 階) 寝る場所 (2 階)
土砂災害	<input type="checkbox"/> 赤 <input type="checkbox"/> 黄 <input checked="" type="checkbox"/> なし
洪水	<input type="checkbox"/> 浸水なし <input checked="" type="checkbox"/> 浸水あり (<input type="checkbox"/> 0~0.5m <input checked="" type="checkbox"/> 0.5m~3m <input type="checkbox"/> 3m~5m <input type="checkbox"/> 5m以上)
高潮	<input type="checkbox"/> 浸水なし <input checked="" type="checkbox"/> 浸水あり (<input type="checkbox"/> 0~0.5m <input checked="" type="checkbox"/> 0.5m~3m <input type="checkbox"/> 3m~5m <input type="checkbox"/> 5m以上)
津波	<input type="checkbox"/> 浸水なし <input checked="" type="checkbox"/> 浸水あり (<input type="checkbox"/> 0~0.5m <input checked="" type="checkbox"/> 0.5m~3m <input type="checkbox"/> 3m~5m <input type="checkbox"/> 5m以上)
地震	想定最大震度 <input type="checkbox"/> 震度 7 <input type="checkbox"/> 震度 6 強 <input type="checkbox"/> 震度 6 弱 <input type="checkbox"/> 震度 5 強 以下

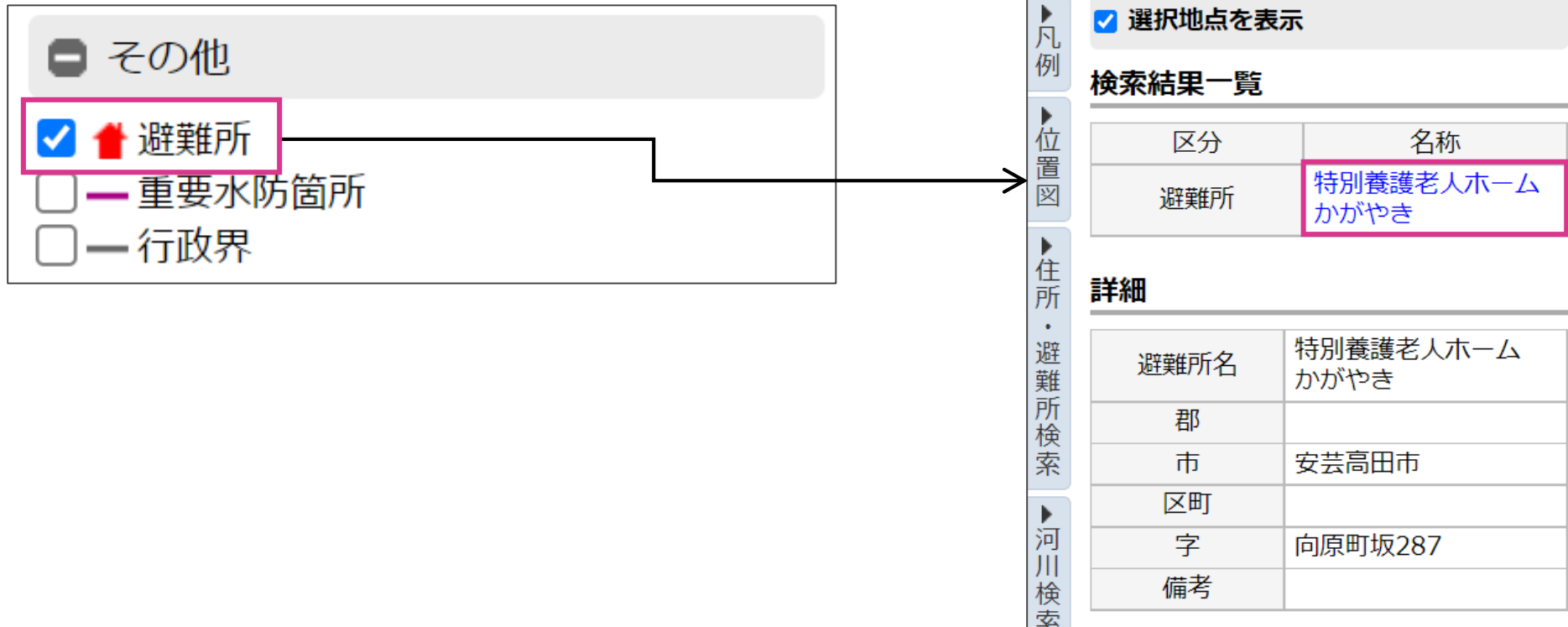
浸水深と家屋の関係



避難の必要あり。大雨・台風時には、市町から「高齢者等避難」が発令されたら避難開始

ワーク 避難先を確認する

避難の必要性が「あり」だった場合の避難先を確認します。



Filter menu:

- その他
- 避難所
- 重要水防箇所
- 行政界

Search results overview:

区分	名称
避難所	特別養護老人ホーム かがやき

Details:

避難所名	特別養護老人ホーム かがやき
郡	
市	安芸高田市
区町	
字	向原町坂287
備考	

避難先や避難経路における自然災害のリスクも確認しておく

自らの判断で早めの避難

- ✓ 「自らの命は、自らが守る」意識と行動が重要
- ✓ 最新の「防災気象情報」や「避難情報」に注意し、早めに避難の準備を開始し、「立退き避難」を基本に、より安全な場所に避難する
- ✓ 避難情報が発令されていなくても、身の危険を感じた場合は早めに避難行動を開始する
- ✓ 自宅に安全な場所が確保できる場合は、建物内のより安全が確保できる場所に移動したり留まる（河川堤防沿いでない建物で浸水しない上階部分等）

「避難情報」に頼りきりにならない、早めの避難行動が重要

**地震の場合の避難は、
どのようになるのでしょうか？**

地震時の対応の基本

地震発生！

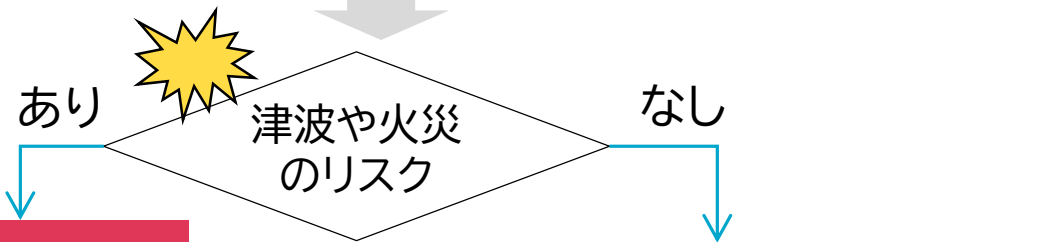
自分の身の安全を確保
状況の確認(家族、自宅建物、近隣の様子など)



緊急地震速報が流れたり、地震の揺れを感じたら、まず身の安全を守る

正しい情報を得る

ラジオやテレビ、消防署や県のサイトで正しい情報を入手する



避難場所

※津波の場合、高台など身近な場所含む



※住むことが出来ない

指定避難所

※自宅に被害が生じ、住むことが出来ない場合

在宅避難

※備蓄がある場合に在宅避難が可能になる

自分の身の安全が守られた後、
地域で避難誘導、救出救護、消火などの防災活動に取り組む

まとめ

- 危険が迫っている場合、状況に応じた適切な避難行動(より安全な場所に移動すること)をとる
- 取るべき避難行動は、地域の災害リスクや避難先の状況に応じて異なるため、適切な避難行動ができるよう、平常時から確認しておく必要がある
- 避難行動は適切なタイミングで行う。安全に避難するためには、早めの避難開始が大切
- 災害発生後の避難行動となる地震の場合と、災害発生前の避難行動となる、土砂災害や洪水・浸水害などの場合の避難とでは、避難のタイミングや避難行動の内容が異なる